



青年部

YEG Kurobe Young Entrepreneurs Group

Report

令和7年度スローガン

『Have fun in 黒部YEG』
～新しい挑戦や変化に対し前向きな姿勢を～

第70回記念『くろベフェア2025』

9月20日（土）、21日（日）に開催されました『くろベフェア2025』において、黒部商工会議所青年部もイベント運営を行いました。今年のくろベフェアは70回目という節目の記念の年ということで、例年以上に子どもから大人まで幅広い層に楽しんでいただくイベントを実施したいという思いから、「水上ステージ」と「お化け屋敷（ゾンビパニック）」を企画しました。

ここ数年のステージ企画は陸上で行っていたのですが、集客のための目玉として、2019年以来的水上ステージを設定しました。20日（土）の出演者は演舞パフォーマンスが中心でした。オープニングセレモニーから引き続き和太鼓グループ「詩季訪」から始まり、宇奈月青年団の獅子舞、新川アイドル「LOVE DREAM」、キッズダンス「TEAM BRUSH CREW」、金沢星稜大学K-POPダンスサークル「CRASH」によるパフォーマンスを披露していただきました。また、21日（日）の出演者は音楽によるパフォーマンスが行われ、陸上自衛隊第10音楽隊や桜井高校吹奏楽部とのコラボステージ、カラオケ大会を開催しました。陸上自衛隊音楽隊も6年ぶりに出演していただき、少しでもぐずついた天気だと屋内演奏の



▲宇奈月青年団獅子舞



▲カラオケ大会

予定でしたが、天候に恵まれ水上ステージでの演奏が叶いました。カラオケ大会では少ない組数に絞った中、仮装で多くの出演者に場を盛り上げていただきました。今年のテーマが「プロフェッ

ショナル」ということもあり、出演者からパフォーマンスに対する誇り、躍動感が感じられ、会場全体の熱気や一体感がひしひしと伝わってきました。

お化け屋敷（ゾンビパニック）は2階会議室にて行われ、世界観は「極秘の研究施設でウイルスが施設外に漏出し、ゾンビが大量発生。参加者が“ワクチン回収チーム”として施設に潜入、ゾンビの目をかいくぐり館内に散らばったワクチン試料を回収し、世界を救うことがミッション」というものでした。内容は子どもでも挑戦できるシンプルな謎解き・迷路・間違い探しが各所に配置され、協力しながらワクチンを発見する流れで参加者が挑戦していきました。ゾンビ役は青年部が務め、専門の方からのレクチャーを受け、参加者に少しでも楽しんでいただけるよう尽力しました。おかげさまで、参加者の内訳は学生の友達同士や家族での参加が多く、前者は非日常感が味わえ楽しんでいる姿、後者は泣いているお子様をなだめる様子が多く見られました。2日間とも開催されましたが、両日とも午後1時頃に整理券が完売するほどの人気ぶりでした。

半年ほど前から準備を進めてきた本事業につきまして、多くの来場者にイベントを楽しんでいただけたかと思います。『くろベフェア』の準備に携わっていただいた青年部会員の皆さま、関係者の方々へ、この場をお借りしてお礼申し上げます。本当にありがとうございました！



▲陸上自衛隊・桜井高校コラボステージ



▲お化け屋敷（ゾンビパニック）